

# ひら・ん・ぽ



**12/15 (日) 開催** **幼児向き ゆかいなクリスマスコンサート**

## サプリ村野学校



## 幸せのフラワーアレンジメント ~X'masバージョン~

《フラワーサークルエレガンス》 **12/13(金) 12/14(土) 開催**

**ひらかた市民活動支援センター**  
TEL:072-805-3537/FAX:072-805-3531  
Eメール:info@hirakatanpo-c.net  
http://hirakatanpo-c.net/manabis/sapurimuranogakkou

### 《パフォーマンスサークル「街」》

12月のサプリ村野は、クリスマスコンサートや、フラワーアレンジメント作りなど、楽しい企画がたくさんありました。サプリ村野学校では、メンバーや会員を増やしたい実施団体を募集中です。サプリ村野を利用したことのない団体や、これから活動していきたい団体もお気軽にご相談ください。なお、サプリ村野学校のスケジュールは、毎月の広報ひらかたや、ひらせん情報紙「ひらせんナビ」、またひらかた市民活動支援センターのホームページに掲載していますので、是非チェックしてみてください。

今回、掲載している団体についてのお問い合わせは、ひらかた市民活動支援センター(☎072・805・3537)まで、ご連絡ください。

10/7  
(月)  
開催

# 初めての中国語会話

今回の講師は、太極拳も教えている「中国語雲華会」の神野陽子さんです。中国語には、四声という声調があり、例えば、「ma」と発音するだけでも4種類あります。高低やアクセントによって、第2声では「麻」、第3声では「馬」のように、意味が全然違ってしまったりが難しかったです。

講座では、2人1組になってあいさつの練習をしました。你好(ニーハオ)、再見(ザイジエン)と、何度も反復練習することで、中国語での会話に慣れていきます。講師の方が、とても丁寧に発音を教えてくれたので、わかりやすかったです。

最後は、上海の観光地や中国各地の方言の違いについても教えていただき、中国語だけでなく、中国の文化についても少し詳しくなりました。

中国語雲華会では、毎週月曜日に、中国語のクラスを新設する予定です。中国語が初めての方も中国の歴史に興味がある方も、是非、参加してみてください。(文・姉崎 恵)



サプリ村野学校

《中国語雲華会》

10/10・24  
(木)  
開催

# 50歳からの演劇入門



サプリ村野学校

《スティックシアター》

「スティックシアターひらかた」は、シニアの方が毎日生き生きと過ごせるように、シニア劇団を結成し活動することに加え、若手の演劇関係者を講師に迎え、若者の雇用促進にも力を入れています。

講師は、「演劇ユニットYOU企画」を主宰している演出家の松浦友さん。劇作家としても活躍される若手演出家です。入門講座なので、まずは、基礎のボイストレーニングから始めます。自分の体をコントロールできるようにストレッチをして体をほぐします。私も一緒に腕をゆったり、やじろべえのように回してから深呼吸すると、気持ち良かったです。

演劇は、無理に大きな声を出さず、相手にボールを投げて、イメージを共有するのが、大事だそうです。最後に「銀河鉄道の夜」を発表して、それぞれのイメージする登場人物になりきって演じてみました。毎月第1・3木曜日(原則)にサプリ村野で活動中です。(文・姉崎 恵)

10/20  
(日)  
開催

# えほんライブでアフレコ体験

「えほんライブ」とは、絵本と音楽、歌が織り成すハーモニーを参加型で楽しむものです。今回は、実際の「えほんライブ」を鑑賞してから、参加者にセリフを覚えてもらい、スタッフの後に続いて練習します。慣れてきたら、映像に合わせて、タイミングよくセリフを言っていきます。

今回体験した作品は、ハーモニークラブのオリジナル作品「トゲトゲのシャボン」。サボテンのシャボンは、トゲトゲの体のせいで、動物たちを傷つけてしまっています。自分の心までトゲトゲになってしまっています。そんな時に、カエルのエルがやって来て、シャボンに触れようと果敢にチャレンジしますが・・・という話です。えほんライブを行っている「ハーモニークラブ」は、難しい問題にもチャレンジすることや「大好きだよ。」とありのままの個性を受け入れる子どもたちの心を育てる作品をたくさん作られています。(文・姉崎 恵)

《ハーモニークラブ》



サプリ村野学校

11/17  
(日)  
開催

# ビーズをテグスで編んで アクセサリー作り



ハンドメイドアクセサリー教室リバリバ工房の川辺先生、NPOフェスタなどでよくお目にかかります。今回の体験教室の参加者は、お仕事をお持ちの若いママと、小学6年生のお嬢さん。2人でお揃いを作りしようというわけです。川辺先生の作品から、ブルーの濃淡と白のビーズで星型のデザインを選び、ママはピアスに、お嬢さんはイヤリングに挑戦。

場所はサプリ村野の市民活動ネットワークルーム。日差し明るく、一緒に来た保育園児の弟さんも絵本を読んだり、折り紙をしたり。手作りの楽しさに、時々笑い声も起こり、なごやかな雰囲気の中、お嬢さんは早々に仕上げ、ママは苦戦。先生にコツを聞くと、「交差がいのち」といわれます。テグスの交差をまちがえると、ビーズを入れなおして大変。「でも間違えて覚えるんですよ。」と先生。

完成後は、変わり毛糸でクリスマスツリーも仕上げ、次に手作りしたい作品を見つけて、早速次回の教室を予約。うらやましい仲良しぶりでした。

(文・高橋 佳子)



## サプリ村野学校

# ネパールの今を考える

12/9  
(月)  
開催

ネパールは、ヒマラヤ山脈のふもとに位置する南アジアの国で、多様な民族が住み、現在数多くの貧困層が暮らす、アジアで最も貧しい国と言われています。

この日は、海外支援に関心のある方を交えてネパール等の貧困層を支援する「ネパール支援友の会」「枚方交野国際奉仕活動協会(HIKIVA)」「Aiohaigono NPO」「ネパールこどもクラブ」の活動報告が行われました。

活動歴30年以上のシニアから、活動を始めて数年の20代の若者まで、支援を始めた時期やきっかけはさまざまですが、学校・孤児院建設、学費・学校運営費支援、識字・職業訓練、スポーツ交流など、活動も多岐にわたっています。HIKIVAの浜崎さんは、

「ネパールの今の貧困は歴史を背負っている。教育でネパールの人自身が生きる力を身につけて、自分の力で変えていこうという思いを持ってほしい。」と話されました。

援助活動も食糧・衛生・教育など、いろんな形があり、現地に行つて目の前の困っている人を救うことと、貧困撲滅のために世界を変える仕組みづくりの両輪で活動することが大切だと感じました。

今回の交流を機に、お互いの活動がつながり、さらに広がることを願いつつ、ネパールの人たちの貧困解消につながればと思います。

(文・中野 ともみ)

1 貧困をなくそう



# 緑地を増やし、自然を楽しもう! ～こうりがおかプレーパーク～



こうりがおかプレーパークでは、毎月第3・第4土曜日に、整備活動をしたり、子どもたちを中心に活動しています。2019年は、11月に、「第9回みどりのまちづくり賞」を受賞し、市民自らが桑ヶ谷の森を整備し、プレーパークを実施していることが高く評価されました。また、大人も楽しめる企画として、9月にスマートバーベキュー(BBQ)講座、10月にジビエ料理講座を開催しました。

スマートBBQとは、おいしいだけでなく地球にも優しいBBQです。講師の日本バーベキュー協会中級インストラクター、欠端みゆきさんから、なるべくごみを出さず、食材を活かせる工夫を教えてくださいました。ピーマンを丸ごと焼くと種まで食べられるなんて驚きでした。ジビエ料理の先生は、自身も猟師という平岡裕子さん。シカやイノシシを害獣という言葉でくくるのは嫌い。シカは海外では高級食材で栄養価も高いことが理解され、おいしく食べることができれば、無駄に奪われる命がなくなり、山もきれいになるのではないかとジビエ料理の研究を始めたそうです。平岡さんは、11月にジビエ料理レシピコンテストで「農林水産大臣賞」を受賞されました。



これからも、子どもはもちろん、大人も楽しめるように準備していく予定ですが、なにぶん自然相手なので、準備を進めるのに人手が足りません。自然と戯れたい方、緑地整備に関心のある方など、まずは、お気軽にのぞいてみてください。

(文・中村 仁美)



## 災害の変化に対応を

2019年は、台風19号など、度重なる台風と大雨により、東日本地域を中心に大きく被害が広がりました。未だに避難生活を余儀なくされている方もおられます。

最近の台風は、一昔前の規模とは違い、気候変動による自然の変化も関係すると思いますが、上陸するたびに大きな被害が出ています。気象庁も政府も自治体も、声高に大きな台風がやってくると伝えても、住民に伝わっていないのが現状です。今や台風が来たら、大げさでも逃げる時代です。そういう時代、気象状況になっているということ、今後はお互いに伝え合っていかなければ、一人一人の命が守れないと思います。「うちは大丈夫」とたかをくくる前に、ハザードマップを確認し、想定外にも備えた準備が必要です。高台でも場合によっては、内水被害なども報告されています。いろんな事態に備えていきたいですね。

当センターでは、防災災害支援事業の一環として「防災小学校」を実施しています。2019年度は、各校区の自主防災訓練や、小学校の土曜参観、子ども会の行事など13件のご依頼をいただきましたが、特に今年度は、「水害避難体験」への体験プログラムに関心が高かったです。また、土曜参観や防災キャンプなどに参加した小学生は、一つ一つの防災プログラムに大変熱心に取り組んでいるだけでなく、しっかりとした防災知識をもっている子どもたちが多かったのが印象的でした。

(文・重村 雅世)





# 中学生にできること

2019年度は、より多くの中学生にディスカッションに参加してもらうべく、「防災」をテーマに3つの中学校の「土曜授業」でディスカッションを実施しました。

どの中学校でも、東日本大震災当時、小学6年生だった宮城県女川町出身の木村圭さんのお話を聞き、「災害時に中学生ができること」について考えてもらいました。ディスカッションの内容については、クラスの班ごとに「災害時に困る人」「災害場所で気をつけること」「避難ルートで危険な場所」「避難所で自分たちができること」など、学校や学年ごとに、さまざまなシチュエーションで話し合ってもらいま

た。話し合いの内容も発表も、中学生しか思いつかないような発想やアイデアが満載で驚かされました。

2020年2月1日には、枚方市内の中学生が集まる「令和元年度中学生ディスカッション」を開催します。今回は、防災だけでなく、より広い視点で、住みよいまちにするために、中学生が地域で何ができるかを考えます。枚方市を住みよいまちにしていくために、一緒に考えてくれる中学生の皆さんのご参加をお待ちしています。



## 令和元年度 中学生ディスカッション 参加者募集

枚方市内の中学生が集い、ディスカッションを通して、中学生自身が「自分たちができること」を考えます。

今回は、オリエンテーションに、国連サミットで採択された持続可能な開発目標を考える「SDGsカードゲーム」を取り入れて、「地域や枚方をより住みよいまちにするために中学生にできること」をテーマに行います。

- 日時: 2020年2月1日(土) 12:50~16:30
- 場所: 枚方市市民会館 本館3階
- 対象: 枚方市内在住または在学の中学生
- ※当日の交通費として、各学校の最寄り駅(またはバス停)から枚方市駅までの交通費を補助します。
- 申込方法: 電話・FAX・Eメールで、参加者氏名・学校名・学年・住所・電話番号を添えて、お申し込みください。
- 申込締切: 2020年1月20日(月)



申込・問合せ先  
 特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター  
 電話: 072-805-3537 / FAX: 072-805-3532  
 Eメール: info@hirakatanpo-c.net

令和元年度  
**「中学生ディスカッション」  
 参加者募集!**

日時: 令和2年2月1日(土)  
 12:50~16:30(申込締切)

場所: 枚方市市民会館3階  
 (Mitsubishi City Hall 3F)

ディスカッション  
 地域や枚方をより住みよいまちにするために  
 中学生にできることを話し合ってみよう。

オリエンテーションとして、国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」を考える  
 SDGsカードゲームを行います。

主催: 企画部 枚方市・特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター

いろんな中学校から集まって、ワイワイ月  
 楽しく語って、中学生自身の思いや考えを  
 発表できる貴重な機会です!

# ひらかたNPO フェスタ2020

## 日程決定!

「ひらかたNPOフェスタ」は、ひらかた市民活動支援センターに登録している団体等が、ステージ発表・展示・体験・講座などを通して、普段の活動を紹介し、学校や行政、企業や地域の皆さんと交流するイベントです。

2020年9月27日(日)

ニッパーク岡東中央・枚方市市民会館ほか



出展団体の募集は3月から行います。ひらかた市民活動支援センターに登録している団体には、2月後半ごろに、メール・FAXでご案内します。



2020年度

# ひらかた防災学校

学んで守ろう わが身わがまち

2020年6月14日(日)

枚方市市民会館

小ホール・大ホールロビー・大ホール前



東日本大震災以降、継続的に被災地に想いを寄せるとともに、平常時、災害時に関わらず、地域で活躍できるNPOの活動を知ってもらい、地域、行政、NPO等のそれぞれのできることと役割を確認していく防災イベントです。

3月以降に、参加募集をしていきます。一緒に防災・減災・備災について考えましょう。

## 編集後記

年末に発表される流行語は、よくも悪くも世相を反映した言葉が並ぶ。「免許返納」は、判断が鈍る高齢者ドライバーが増えたことに起因するが、ますます高齢化が進んでいることを感じる。「計画運休」は、今まで休まなかった電鉄会社が、前もって休むほどの大きな災害が頻発したことの表れでもある。

今この瞬間にも、被災地では、仮設住宅などで不慣れた暮らしをしている。今何をすべきかをしっかりと確認し、「ONE TEAM」で取り組むことの大切さを考えていく一年にしたい。  
(編集者・S)

### 【編集・発行】

特定非営利活動法人 ひらかた市民活動支援センター  
〒573-0042  
大阪府枚方市村野西町5-1サプリ村野内  
TEL: 072-805-3537 / FAX: 072-805-3532  
Eメール: info@hirakatanpo-c.net  
http://www.hirakatanpo-c.net/



ひらかた市民活動支援センター公式インスタ  
@hiracen\_info



特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター  
@hiracen



ひらせん(ひらかた市民活動支援センター)  
@hiracen\_info

## イラストだより



マラケシュはモロッコの古都です。世界遺産になっている旧市街の中心地、フナ広場でコブラ使いの大道芸を見て、迷路のような市場をさまよえば、異国情緒にたっぴり浸ることができます。

カサブランカへの帰り、駅近くの喫茶店でお茶を飲み、電車の指定席に座ったところで、店にパスポートや財布を入れたウェストポーチを忘れたことに気がきました。慌てて戻りましたがありません。呆然としていると、ウェイターがにっこり笑ってポーチを差し出してくれました。あの時の感激は忘れません。それから貴重品はベストのポケットに入れることにしています。これがベストの方法です。(笑) (イラスト・文/向井 範雄)